

# 広報かわにし

発行所 川西町役場  
 発行者 川西町 (町長 中村社吉)  
 編集 教育委員会  
 印刷所 白南風社  
 定価 1部5円  
 人口の動き (11月1日現在)  
 男女 7,027人  
 計 7,200人  
 世帯数 1,422世帯

## 中仙田の永久橋 明年五月には完成 工費一千九百万円で

中仙田内の仙田橋が、近代的な鉄橋にかけられることになった。総工費は約一千九百万円、国費による橋りょうかけ工事のため、町で約百万円を支出するほかは全部国費が負担して行なう。工事は冬季に重点がおかれ、さる五日に着工した。明年五月には完成の予定である。仙田橋は、中条新田高柳線をつなぐポイントにあり、完成後は粕崎十日間、彌城・長岡間の交通がますますひんぱんになってくるわけ。これまでチベットといわれてきた仙田郷も、この橋の永久化によって大きくうかびあがることになる。

### 室島橋と同じ型

いまの仙田橋は昭和五年にかけられたもの。二十五年に主ケタを取り替え、以来毎年のように補修してはきたが、最近はそのがでないまでにクタクタしてしまった。四トンの重量制限をいっばいにトラックが通ると、ハラハラするほどの木橋なのである。それだけに「セビ永久橋を」と叫んできた地元の喜びは大きい。

こんどかけられる仙田橋は、昨年完成した室島橋と全く同型の、ボーストリングトラス橋と呼ばれる。雪国の鉄橋としては最も合理的に設計され、積雪や寒さで鉄骨

### 工事中はツリ橋を

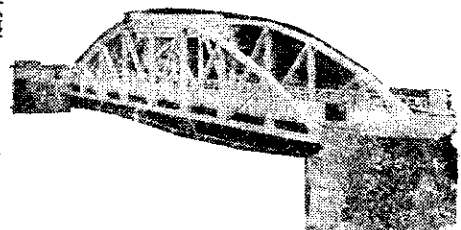
工事中は仮橋をかける。岩瀬橋や室島橋の場合にはまず新しい橋



のくるう心配はほとんどないそうだ。長さ四十二メートル、巾五・五メートルというから、いまの室島橋をそっくり持つてくると思えばよい。ただ少し違ふのは、両側の親柱がやや近代化され、そこには電灯が取り付けられる、ということだ。下部工事(橋台二基および仮橋)の入札は四日に行なわれ丸山工務所が請け負った。上部工事は駒井鉄工所(大阪)が請け負い、すでに鉄骨ができていっているといわれる。

### 赤岩線の 道路も改修

現在、「仙田橋ができたから、中仙田・岩瀬間の道路を六・五メートルに拡張してほしい」という地元民の強い要望がある。これには町も積極的に、仙田橋の完成にたいして着手するけいがある。だからこの線の改修も遠からず実現するだろう。が、このためには沿道住民の敷居やとりこわしが相当数にのぼるものとみられ、町では関係者の理解と協力を望んでいる。



(完成後はこんな橋に)

### ツケ菜洗うアネサ

しびれるような手でツケ菜洗うアネサ、川べの風も身を切るほど冷たい。ここは活のよきはすむところ、ときおりかん高い笑い声をきかせる。冬の食ぜんがにぎわうのもすく。

木落にて……押木秀治撮影

### 交通安全の 自治会を結成

さる十月二十日、町役場で川西町交通安全自治会が結成された。中村町長を会長に、役場関係者、警察官、学校長、囃託員、運転者協会など、八十六名の委員をもって組織する。

道徳の場のために必要な指導助言を行ない、交通環境の改善をはかり、事故の防止に必要な措置をして、川西町から交通事故をなくすることが目的である。

この町で車を動かす人は約一千人、十五人に一人の割合で運転しているわけだ。この会を中心にして、人も車もよく規則を守って、悲惨な事故をなくしてほしい。

### 川西を思う人たち

いま夏をむかえたブラジルに、川西のあさがおが大きな花を見せられたという。去年の七月に、岩瀬の金子国栄君が持参したものだ。祖国の花となつたかしら、邦人の参観者がひっきりなしにつめかけるのことである。遠い地球の反対側で、母国を思う日本人の姿が目に見える。

### 町づくり

東京教育大学での二カ月は、町の出身者にめぐり合う機会でもあった。あの、めまぐるしさの中で、安定した生活を営む人たちが共通なものをつかむことができた。それは、「だれもがふるさとをなつかしむ」ということであつた。

小さな庭に、ふるさとの花がいっぱい咲いていた。名知らぬ草花や苗木でも、帰省のたびに持ち運んで植えたという。春にはさくらやこぶしの花が、秋にはきくが咲いてくれるそうである。つじやせんまいの根を、だいに手入れするおじいさんもあつた。

まだある。すももの木に登って足すりむいたこと、かきくいなから渡り鳥を数えたことなどのおぼえていた。憂いに耐え、長い苦労の末にしかあわせを勝ち得ることができたのは、こうしてつねに生家を思い、ふるさとをなつかしむ気持ちがあつたからであらう。

ところが、あふるさとはなつかしい。が、あふるさとは強い生活には身ぶるいする」という人もかなりあつた。「都には自由がある。だからわたしは東京に出た」とは言わなかったが、心の底にはそんなことがかくされていような人も見うけられた。

異郷で夢にみるふるさととは美しい。あの山この川には、かぎりないおもいでが秘められている。これらの夢をこわしてはいけない。が、住む人の前近代性はこわさなければならぬ。いやなおもいでを忘れさせるふるさと、いつまでも愛される町にしたいものだ。

川西に生きるわたしたち、良きや悪きにおよばないかもしれぬ。町の美しさをもういちどよくかみしめてみよう。社会教育の問題点は何だろうか。

# 社教委員の会議から 社会教育を強力に推進

## 明年は社教主事を設置

川西町社会教育委員ならびに公民館運営審議会委員の合同会議は、さる十月十七日午前九時から役場でひらかれた。社会教育法の一部改正により、ますます強化されてきた町社会教育を、こんどどうにすすめたいか、というところが審議の焦点であった。

この会議により、中村町政のスローガンの一つである人づくり教育が、人的、施設の、予算などの面について整備拡充され、今後、町の社会教育が強力に推進されるものと期待されている。

この日会議に出席した者は、中村委員長(町長)をはじめ、田中三郎(副委員長)、渡辺満磨、酒井信四郎、野沢秀保、種田恒平、馬場下禰、太田長栄、種村清作、片桐荘太、山家庚一、田中直江、田中義勝、藤本秀雄、小川良夫の十五氏。公民館長として登坂精一、柞新治郎、樋口晋七の三氏。事務局から金子幸作と保坂國夫の二名が出席した。会議に先だって中村委員長からあいさつが述べられ、前委員であった高橋源治郎、星名周平、故、登坂三氏の三氏に代わって、新しく委員となった山家庚一、田中義勝、田中直江氏らの紹介があり、田中三郎氏が議長席について会議にうつった。

議事は、①社会教育行政機構の確立 ②社教団体の指導者研修会開催 ③講演会の開催 ④新生活運動指導者の講習会開催 ⑤冬季成人講座の開設 ⑥川西町青年団連絡協議会に補助金十万円を交付する件 ⑦社会教育計画の立案、などであった。

## 機構確立が審議の焦点

### 社教・公民館に増員か

この日のヤマである社会教育機構の確立は、町の社教と公民館に職員をふやしたい、というものである。これまで一名の社教係は、広報などの過重で社会教育の面にまで十分な手を伸ばすことができず、また、一名の公民館係も副任があるとはいえ、各種の行事や青年学級だけで手いっぱい、という実状にあり、それも、ほとんどが土・日曜や夜という仕事を現在までどうにかこらえてきた。にもかかわらず、「社教や公民館は何をしているのか」という声もきかれるので、社会教育主事が必置制となったことを機に、ぜひとも行政機構を確立して住民の要望にこたえたい、というのが事務局の弁であった。

この問題は、今後町の社会教育を推進する原動力となるものであり、それだけに慎重な検討がなされた結果、全委員の要望として次の意見がまとまった。

### 社会教育・公民館職員の増員について(要望)

社会教育法の一部改正により、市町村における社会教育はますます強化され、その仕事や責任も果てないまでに拡大されてきた。ますます業務の遂行に必要な人員を確保し、この町における社会教育の機構を確立して、住民の生活に根をおろした社会教育をすすめていかなければならない。近く、役場の機構改革が行なわれるということであるが、これを機会に次のことを実現していただけるならば幸いである。

- 一、教育委員会に社会教育主事および主事補一名をおくこと。
- 二、公民館に新しく専任主事一名をおき、各地区(千手一、上野・橋一、仙田一)を担任して活動を推進できるようにすること。

### 理解のある 中村町長

(田中三郎氏) 社教関係職員の増員(要望)について、ほかのご意見はないか。

(馬場下禰氏) この案を、委員長である町長さんはどう考えていらっしゃるか。それをおきさしたい。(中村杜吉氏) 役場のどの仕事も年々複雑になってきており、必然的に事務量が増え、小さな町村ほどなやみが大変、というものが現状だ。しかし、社会教育は人づくりである。りっぱな町にするためには、この人づくりをおろそかにしてはならない、とわたしは考えている。社会教育主事は必置制だから問題はないが、これには条例の一部改正が必要だ。近く総文の委員会をひらき、給与についても検討し、ここで増員するかどうかをきめ、現行員の中からくり合わせていくかどうかを審議してもらって、それぞれのすじ

社会教育主事の講習を修了した者で、前各号に掲げる者に相当すると都道府県の教育委員会が認定したものの、のいすれかである。(酒井信四郎氏) 社会教育主事の身分と職務は……。

(保坂國夫氏) 社会教育主事は、教育公務員特別法による専門的教育職員であって、一般事務職員ではない。社会教育を行なう者に専門的な助言と指導をあたえることが職務である。

### 講演会を 魅力あるものに

(田中三郎氏) 講演会開催の件にうつりたい。事務局の説明を求めたい。

(保坂國夫氏) 適当な講師を物色して、四地区で講演会をひらきたい。十一月下旬の予定である。(中村杜吉氏) 講演会を、浪花辰蔵が来たときのようにハヤラセルことはできないものか。せっかくよい講演会をして、聴衆が少なくない講師に気の毒だ。(田中三郎氏) それが問題だ。われわれは、人集めの方法をもっと真剣に考える必要がある。(中村杜吉氏) 何とかいい方法はないものか。女の先生は魅力があるのかハヤル。(笑声)

(登坂精一氏) 婦人会や青年団のように組織をもっていると、義理もあってか多く集まる。が、問題は講師と講演の内容による。(保坂國夫氏) 壮年層を対象にして、経済に直接ひびくような魅力のあるものにしたらい。(酒井信四郎氏) この間の経

濟講演会は聴衆がタツタ六人……イヤハヤさんなんめにあった。(渡辺満磨氏) 社会教育や経済の話は、おもしろくないと苦めこんでいる。だから集まらない。(保坂國夫氏) 小中学生を入れないければ講師にメンツがたない。というようなことはできるだけさせたいと思う。

(中村杜吉氏) ヘタたらゴイスアラヘタ、じょうずだからゴイスアラじょうずの人でなければだめ。(馬場下禰氏) 主題は何か。(保坂國夫氏) 貿易の自由化が農村にあたる影響だ。(野沢秀保氏) このへんの三反百姓には影響しない。だめだ。(中村杜吉氏) 新潟の刑務所長が、週刊誌的な話をしたらわりあいうけたことがある。ああいったくだけた話の中に、大衆の心理をつかむ何かがあるようだな。(野沢秀保氏) 泉の増井、山田、佐藤先生の話は良かった。ああいう話をしてくれれば集まる。(中村杜吉氏) 何にしても、もっと魅力のある講演会をひらこうじやないか。うんと集まる効果的な会にしようじやないか。(田中三郎氏) 講演会は十一月下旬に、地区ごとに行なうことにしたい。テーマは時局問題、講師はNHKを通じて依頼する。

### 研修会は十三日

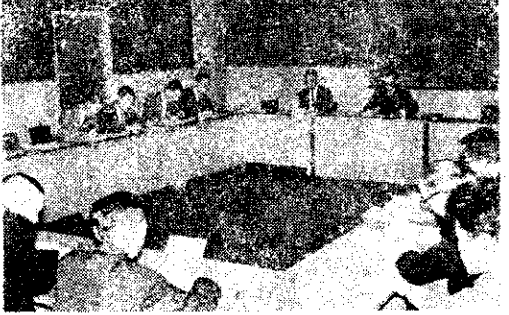
(田中三郎氏) 社教団体の指導者研修会について説明を……。(保坂國夫氏) 十一月十三日に、千手小学校で実施したい。(次ページ上段へ)

(前ページから)  
 青年・婦人団体・PTA・四日クラブ・各部落の代表などが対象だ。講師には農教委の山田沖哉氏ほか五名を予定している。  
 (中村杜吉氏) 分科会があまり多いのは良くない。せいせい三分科会ぐらいが適当だ。  
 (保坂国夫氏) よく考えて実施したい。  
 (藤本秀雄氏) 参加者の予定人員はどれくらいか。  
 (保坂国夫氏) 百五十名。  
**新生活の講習会**  
 (田中与三郎氏) 次の議件にうつりたい。説明を求めろ。  
 (保坂国夫氏) 新生活運動の指導者講習会をひらきたい。県の増井先生から来町を願ひ、四地区で実施したい。十一月下旬の予定  
 (太田長栄氏) 対象団体は：(保坂国夫氏) 嘱託員・青年団・婦人会・PTAなどだ。  
 (太田長栄氏) 十一月はまず、うちの町内では一月に役員が変わる。だから、講習会を受けてもすぐ交替という結果になってしまう。何とかできないか。  
 (〇〇氏) わたしの地区では区長が実権をにぎっている。参加者は区長の選任した者にして。  
 (中村杜吉氏) おとどの十日町新聞に、よそのある町へおエラ様が視察に行ったら、オモダチが現存して、活殺与奪の権をにぎっていた、という記事があったよ。そにはまだあるのかねえ、そんなところが……。

(酒井信四郎氏) この町にはそれほどひどいところはない。が、それに近いところがあるとすればそこらへんを新生活運動で切り替えていく必要がある。  
 (樋口清平氏) そうなると、地についた新生活ができるのだが……。  
 (登坂精一氏) 仙田では二月に決めて、ほとんどが三月に交替する。こういってたところが多い。  
 (金子幸作氏) 会計年度に切り替えられればいちはいい。これとだけ特別に、三月まで留任してもらえないものか……。  
 (馬場下禰氏) チョット困難だろう。交替期のくるのを一日千秋の思いで待っている。(笑)  
 (中村杜吉氏) むしろ冬になっても、新役員に切り替わってからのほうがいい。ほかの機関とも連絡をとって、行事がタブラナシように効果をあげなさい。  
 (田中与三郎氏) 二月と三月にわたって、四地区で実施したい

**青年団に十万円**  
 (田中与三郎氏) 川西町青年団連絡協議会に、十万円の補助金を交付したい。ご同意を得たい。  
 ※全員が異議なく承認した。  
 (田中義勝氏) 五百五十名の団員が協力して、新しい青年団の再建にまい進している。幸い、町長さんをはじめ関係者からご理解をいただき、多額の援助を受けることができた。団員一同に代わって、今後、町づくりの一翼をになわせていただくことを誓いたい。

**成人講座を 手はじめに**  
 (田中与三郎氏) 次の議件にうつりたい。説明をどうぞ。  
 (金子幸作氏) 冬季の成人講座を開設したい。といつも、決してかたくなるものではない。キラクに教養を身につける会をもつのだと考えればよい。全町に開設することが理想ではあるが、手不足からそれができない。そこで本年は各地区から一カ所を選び、そこに継続的な成人講座を開設してみたい。期間は一月から三月まで、毎月二回以上を実施する。うまくいったら永続できるだろうし、これをきっかけとして全町に及ぼしたいとも考えている。委員のみなさんから、世話役兼講師の一人として運営にあたっていただきたい。ご賛同を願えないか。  
 (山家庚一氏) よいことだ。とにかくやってみようじゃないか



(会議の一コマ)

(野沢秀保氏) やってみれば意欲が出てくる。それをうまく軌道に乗せてゆけばいい。  
 (杵渕新治郎氏) 婦人や青年の名を使わずに、成人講座としたのはどういう理由か。  
 (金子幸作氏) 憲法にうたわれている「等しく教育を受ける」という基本線にそせたいから。  
 (田中与三郎氏) 限定的に限定すれば、それ以外の人はもれてしまふ。だから、学校に在籍する者のぞいたすべての成人が対象であり、婦人や青年もふくまれる。  
 (太田長栄氏) 運営費や講師の謝礼などどうするのか。  
 (保坂国夫氏) 公民館の予算にある講座開設費を充てる。ほか木炭(三〇キロ)一俵を現物で支給するつもり。  
 (杵渕新治郎氏) 昨年も橋で開設したわけだが、いちばん困ったのは講師がつかなかったことだ。教委や公民館の指導陣は、いつでも要求に応じられる態勢でほしい。  
 (馬場下禰氏) 上野地区は元町で開設することにしたい。部落に帰ってよく話をし、希望をきいて連絡することにしたがい。  
 (渡辺満磨氏) それがいい。うまくいったらほかの部落からも希望が出てくるだろう。

**社教計画を立案**  
 (田中与三郎氏) 各位のご意見を伺い、社教計画立案上の参考にした。事務局からどうぞ。  
 (金子幸作氏) もうすでに、三十六年度の社教計画を立案する時期になった。町づくりに並行した、人づくり計画が必要である。学校教育と社会教育が相互に浸透をはかり、公教育と民間教育がしっかりと手をつないで、それぞれの立場から目標に到達できるように計画をたてたいと思う。  
 (保坂国夫氏) 上からの教育を求めている人が多い。こうした住民の姿勢に、どうやってとりくんでいくかが根本的な問題だ。  
 (小川良夫氏) はなばなしの計画ではなく、できることを一つ一つ深く掘りさげて、それが住民の生活に食いつくめるような計画であってほしい。  
 (杵渕新治郎氏) 将来に思いをいたし、現状をよく把握して、だからこうしなければならぬのだというウラツケのある計画が必要だ。  
 (太田長栄氏) 目標はこうなんだが現状はこうだ。ということから、今はこうだが将来はこうなる、という線ですすんでいける計画がほしい。  
 (種村清作氏) 実践活動のセンターである公民館に、その機能を果たしていくだけの施設が少ない。機構の確立が実現したら、それに見合う施設を考えてほしい。  
 (樋口音七氏) オヤジ層の教育をどう位置づけるか、ということ、つまり、成人教育の場をどうするかということが問題だ。  
 (藤本秀雄氏) 学校施設がでるだけ開放され、社会教育の面で十分に生かされていくような計画をたてるべきだ。  
 (〇〇氏) 学校開放もいいが、あとしまうがたいへんだ。夜など土足で運動場にはいったりタバコの吸いながら床板にこすりつけたら、ゴミは散りほうだ。これでは翌日の授業に影響する。このへんの道徳心を、もっと社会教育の面でとりあげてほしい。  
 (田中与三郎氏) 広報かわにしは実にいい。あれが町づくりに果たしている力は大きい。今後、社会教育の面で十分に活用していただきたい。

衆議院議員総選挙

投票日まであと十日

国づくりをあなたの手で

衆議院議員総選挙は十一月二十日にきまった。戦後八回、新憲法が公布されてから七回目の総選挙である。この選挙が、いまだデモクラシーにはほど遠いといわれる日本の、今後の動向を左右することはいうまでもない。毎日の暮らしが今よりもっと良くなることも、逆に今より苦しくなることも、じつに、この選挙が正しく行なわれるかどうかにかかっている。選挙公報をよく読み、わたしたちの代表としてふさわしい人に、あなたの清い一票を投じていただきたい。

選挙戦

たけなわ

第四区(定員三名)の立候補者は、田中彰治(自民前)、木原正雄(民社新)、寺島泰治(共産新)、塚田十一郎(自民前)、鈴木吉治郎(社会新)、猪俣浩三(社会前)の六氏。この町でもさる六日に立会演説会を終わりに、目下激烈な選挙戦が展開されている。

町にはこれまでもおりの十六の投票所が設けられ、当日は選挙関係者を中心に、役場職員が総動員で選挙の事務に従事する。投票時間は午前七時から午後六時まで、ただし一部の投票所では、一時間ないし二時間の繰り上げ投票を予定している。県内ほとんどが即日開票のため、町でも午後八時から役場で開票の見込み。

町選挙管理委員会では、十月三十一日現在で補充選挙人名簿を調査した。この名簿は十一月十三日から十六日まで縦覧し、この間に異議の申し立てを受け付け、十八日に確定することになっている。

もしやと思う人は、この期間にもういちどよく確かめてみることをおすすめしたい。

裁判官の国民審査

この選挙と同時に、最高裁判所裁判官の国民審査が行なわれる。最高裁判所の裁判官は政府が任命するが、任命された人が適任であるかどうかについては、主権者である国民の信任を得なければならぬ。この信任投票が、いつも、衆議院議員の総選挙にあわせて行なわれるわけである。こうして信任された裁判官は、その日から十年間在職することになっている。今回審査を受ける裁判官は、その十年の期限が切れて二度目の、小谷勝重・島保・斎藤悠輔・藤田八郎・河村又介の五氏と、はじ

戸籍の窓から

たかさご 御円満に

- 新郎 伊藤 保雄 上野
新婦 丸山 花 原田から
新郎 北堀 伸司 小白倉
新婦 山岸 サツ 三桶から
うぶ声 御すこやかに
浦井 健一 政春 長男 上野
相崎加代子 留二 長女 発電所通
宮 千種 昭一 長女 山野田
丸山 和彦 郁平 長男 根 深
内山 佳子 辰雄 長女 新町

衆議院議員総選挙投票所別一覧

Table with columns: 投票所, 開設場所, 町長選挙時数(有権者数), 投票管理者. Lists 16 polling stations across the town.

めて信任を問われる横田喜三郎・高木常七・石坂修一の三氏である。裁判官の審査にあたっては、とくに次の点を注意していただきたい。(1)衆議院議員の投票用紙と、国民審査の投票用紙を同時に渡すからまちがいのないように。(2)裁判官の全員を信任する人は用紙に何も記入しないでそのまま投票箱に入れること。(3)やめさせたい裁判官があったら、その人の氏名の上にハッキリ×印をつけること。○や△、その他の符号や字を書くは無効になる。

赤ちゃんコン

第三回赤ちゃんコンクールで二十名の優良児が生まれた。きよねんの四月一日から、ことしの三月末日までに生まれた赤ちゃん二百四十四名を対象に実施したもの。さる二日の表彰式に、中村町長から賞状と賞品が贈られた。晴れ

Table showing rice sales status for the 35th year in Kawasumi. Columns include grade (1等 to 5等), quantity, and price. Includes a list of names like 富井 栄一, 佐藤 忠雄, etc.

ふるさと 二年半ぶりの総選挙がまおかつた。町で投票の行なわれるのは昨年六月の参院選以来だ。公明選挙が連日叫ばれ、昨年の選挙チームが同時に奮闘選挙チームを意味したあつたから、関心の深いのは当然である。選挙の腐敗といふと、一般が無抵抗な傾向にあるのは解せない。実際、本気で怒る者がバカにされるようなフシを見受ける。たんに選挙という局所だけの心理ではないと感じた。「清く正しい」式の公明選挙運動ではおとらなく、運動の曲がりかどがうんぬんされ、最近になって話し合い運動の方法をとり入れたのもうなすける。共通の考え、意見をつくりあける努力は必要なのだ。町で公明選挙を論ずるなら、具体的に一つだけ言ってみよう。それは、無効投票が多いことだ。昨年の例をとると、四月の統一地方選挙では県議で九三四、参院の通常選挙になると地方区が四三九、全国区で七一もの無効投票がある。知事にタライ・ラマと書き、県議に月形半平太と記入するため投票所へ足を運ぶ、全く落語にもならない。他事記載の心理など高の知れたものだが、白票の多いのは残念だ。こう無効が多くなると投票率の高低も二の次ぎになってしまう。いつの選挙でも違反者のみられない川西町のことだ。この上は「自分のいちばん出したい人、選びたい党に一票を入れる」精神に違反してもらいたくない。こんどの選挙をこんな意味で考えてみた。

(Z)

### 第二回青少年実績発表会

## じっくりとりくむ生産活動

### 目標つかんだ青年たち

青年活動の沈滞がとりだされ、お祭り青年団といわれてから久しい。そんな空気を一掃した第二回川西町青少年実績発表大会だ。昨年の第一回大会あたりから、青年たちが地域の生産活動に関心をむけている姿がうきだされ、女子も生活の改善に問題求めている目標を失った青年ということほか、町ではようやく過去のものになりつつあるようだ。以下この日の大会にふれてみると……

### 質問もなごやかに

第二回川西町青少年実績発表大会は、さる十月三十日上野小学校体育館でひらかれた。この日集まったのは町の青年団員、青年学級生、それと一般もくわって約三百人。来賓の激励にはじまった大会は、クラブ発表、プロシエクト発表、演説をあわせると十六、演



また、表面だて発表に優劣はつけなかったが、審査方法を定めて、主催者(青年団・公民館・普及所)が内容をこまかに分析したことは、発表技術の問題をはじめ、今後に役立つところが多いだろう。

審査にあたったのは山家庚一・斉藤長兵衛高橋光子(いずれも普及所)金子幸作(町教委)保坂国夫(公民館

刻ひとつをはさんで、青年団の民謡、藤間流の日本舞踊(特別出演)というもりたぐさんの内容であった。

発表者ひとりの持ち時間は七分(演説は十分)、それに三分間の質問時間がくわわった。質問時間をもらったのはこの日の大会の特色のひとつ、この結果、発表者と聴衆の間にいっそうの理解を深めることができた。昨年比べて進歩した点、といつてよいだろう。

の五氏で、審査の結果は、県の青少年実績発表大会に、町の代表を送るための資料にもなる。

発表内容は、青年団の場合部落青年会の活動に重点をおいているこれは町青年団連絡協議会の方向が示すように、これからの青年団活動が実生活と結びついた、小グループや部落単位の活動に移ってきたことを物語る。



(審査風景)

### 多彩な発表内容

それではどんな発表があったか当日のプログラムによると

- ◎水田の改良暗渠排水
- ◎新町青年会 内山 重義
- ◎粒数計算および坪刈りと実収高の差 仁田青年会 小幡 邦保
- ◎自動車グループの歩み 千手青年学級 丸山 政勝
- ◎農村の生活(アンケート) 大臼倉青年団 岡島 利明
- ◎農村と婦人

野口青年会 村越 久江  
料理演説「サンマどんぶり」  
上野青年学級 高橋 アキ  
上村 栄子

◎青年団活動について  
上野青年会 田村 直行  
◎青年学級と父兄会  
橋本青年学級 藤田 義幸

◎農村みたま  
元町青年会 金子 鉄平  
◎中央青年会結成のあらまし  
中央青年会 小林 松市

◎部落の中にとけこんだ青年活動  
取安青年会 丸山 和徳  
◎青年学級でどんなことを学習したいか  
上野青年学級 清水寿美江

◎料理演説「揚げ魚のソースかけ」  
橋本青年学級 田口 秋江  
戸田千津子

◎血圧調査を通じた部落活動  
下原青年会 田中 栄子  
◎農村の作業衣  
霜条青年会 星名 貞子

◎養鯉とれんこん栽培  
下平青年会 清水 雄

注目される  
これからの動き

このほか中仙田・戸田青年団が合同で発表した演劇「休み日」はこのところ話題にのぼっている。休日の問題を、新旧世代の意見のくい違いに焦点をしばって力演、演劇が主題のとりあげかたいかんで、効果的な青年活動になることを立証してくれた。

全般的に女子の発表が男子のそれをうわ回る。演説がクラブ発表やプロシエクト発表をおさえた

### 青年とダンス

先日、上野小学校でひらかれた青少年実績発表大会に出席し、町の青年活動の実状をうかがいながら、のついたことがある。

それは、最近ひんぱんに行なわれている社交ダンスについてである。社交ダンスの会を開催したら盛況だった。こんども、このような点で会を発展させたい、という青年会があった。だれにも喜ばれる

### 町の声

民謡とちがって、社交ダンスは一般のかたがたも良くは思っていない。ましてやそれで青年会を発展させようとは、思いがちもはなはだしからう。

お盆、祭日の行事としても、ダンスというと、ほとんどが不健康な社交ダンスで、フォーク・ダンスなどはほんのていさいでしかない。明るい太陽の下で、どうどうとみんなの楽しめるフォーク・ダンスをなせやらないのか。

未来をになうべき青年たちがこんでは、いつまでたっても明るい町にはならないだろう。自分だけ楽しくやっていたら他人はどろでもよい。そんなエゴイズムを捨てて、みんなが楽しめるような明るく健康なフンキを若い者の手で作ってゆかべきだ。

このことは、町の社会体育指導委員のかたにもぜひにお願いしたい。(伊友 比斐生)

### 庁内人事

という批評も、ひとしく努力のあとを認めたいこと。しかし発表の間口がひろすぎ、内容にいまのまのくいまが望まれたのはそのまのまの青年活動の現況をさしてもいたようだ。青年諸君の今後の動きを注目したい。

出納係りの数藤洋子(沖立)さんが十月七日付で、社会係りの蔵品徳子(霜条)さんが十月三十一日付で退職した。仲の良かったふたり、数藤さんは一カ年、蔵品さんは一年六月を、町のためほん

とによく働いてくれた。彼女たちの去ったあと、晩秋のわびしさに和してうらかなしさがただよう。ご多幸を祈るや切。

ダンスという、ほとんどが不健康な社交ダンスで、フォーク・ダンスなどはほんのていさいでしかない。明るい太陽の下で、どうどうとみんなの楽しめるフォーク・ダンスをなせやらないのか。

未来をになうべき青年たちがこんでは、いつまでたっても明るい町にはならないだろう。自分だけ楽しくやっていたら他人はどろでもよい。そんなエゴイズムを捨てて、みんなが楽しめるような明るく健康なフンキを若い者の手で作ってゆかべきだ。

このことは、町の社会体育指導委員のかたにもぜひにお願いしたい。(伊友 比斐生)

あたたかいい心で  
社会体育指導委員は、社交ダンスの指導をしてみませんか、内容をよく検討しないでただ不健康だ、悪いものだときめつけるのはまちがいではないでしょうか。民謡でも、フォークダンスでも、同じことが言えると思えます。内容が健全なものであるならそれをもっとよくなるようにし、それらが学習活動や実践活動につながっていくような話し合いの場をもち、適切な助言を行なっていくべきでしょう。

あの日の大会でお聞きになったでしょうが、この町の青年たちがひたむきに、それぞれりっぱな活動を続けていることを、もういちど思いおこしてください。これらの活動がもっとよくなるように、みんながあたたかいい心で育ててゆきたいものです。(保坂国夫)

# 新しい道路交通法

十二月二十日から施行

「二十八人死亡、六百三十人負傷」といへんなニュースの通りですね。実はこの数字は、昨年全国でおきた一日平均の、交通事故の被害者の人数です。

この深刻な交通問題を解決するためには、すべての人が交通規則を正しく知ること、そして、これを確実に守ることよほかにありません。ところで、この新しい交通規則が、近ごろの交通事情の変化にまっただけ追いつけなくなっていました。そこで、その改正が強く要望されて、国会で熱心な審議のすえ、国民生活のルールとしての新しい「道路交通法」が生まれ、十二月二十日から施行されることになりました。次に、改正法のおもな点を紹介しましょう。

新しい法には、全体を通じて歩行者保護の精神がうねられて、行きます。そして、道路における安全な交通のために、自動車、自転車はもろろんのこと、一般の歩行者にもその責任があることになって、います。もし違反した場合は、車はもろろんのこと、歩行者も罰せられることになり、ますから注意してください。

車が歩道にはいるとき、歩行者が横断歩道を正しく歩いているときは、自動車、自転車などの車は必ず一時停止するか、または徐行して、歩行者を優先的に横断させなければなりません。車両（自転車を含む）が、ガソリンスタンドや車庫などのような場所に入り込むため、やむなく歩道を横断するとき、歩道の直前で一時停止して、歩行者の通行をさまたげないようにしなければなりません。

れています。左の部分を通りしなればならない」となり、左側通行の原則が、きりきりします。もちろん、歩行者は右側通行をしなければなりません。

### 交差点の右折は小回り

交差点での右折方法は、いまは右外小回りが原則ですが、今後は右内小回りを原則とすることになります。二種バイクも右内小回りが原則となります。また、踏み切り事故の防止を徹底するため、一時停止の義務がきびしくなりました。いまは安全を確認すれば一時停止しなくてもよいのですが、これからは、必ず一時停止しなければならぬことになり、ます。

### 車は左・人は右

車は、道路の中央線の外に出られないことになり、ます。現行法では「車馬は……できるかぎり車道の左側を」と規定されています。

### 青空車庫の追放

駐車についての規則がきびしくなり、いままでのほか新しく車庫

### 酒気おび運転の禁止

酒気おび運転が禁止されます。よっぽど酔っていても、政令で定める量以上のアルコールを体内におびているときは、運転できないことになり、ます。

### 運転免許はこうなる

バイクの「運転許可」が「免許」となり、第一種免許は、現行の十種（仮免許を除く）から大型、普通、特殊、三輪、二輪、軽の六種類に整理され、一・二種のバイク免許を加えて八種類になります。第二種免許は、現行の五種が大型普通、特殊、三輪の四種類に整理されます。このほか、練習のため

## 町の揭示板

の仮免許があるわけです。なお、現行の小型四輪免許は普通免許とみなされますが、公安委員会の審査に合格するまでは、その運転することができる普通自動車は、現行法令に規定する小型四輪車にかぎるものとされています（川西町交通安全自治会）

### 十一月は町議会

午前十時から役場ですらき、①川西町分損金条例の制定 ②組合立伝染病舎関係規約の一部改正のほか、請願三件を審議する。

### 選挙人名簿縦覧中

九月十五日現在で調製した、基本選挙人名簿を縦覧（五日から十九日まで）中、十二月二十日に確定し、以後一か年以内に行われる選挙に使う。確認してほしい。

### 勤労者協議会が発足

二十九団体が参加し、六百二十四名の会員で組織する。町の勤労者が相互に親睦をはかり、生活を安定させて町の発展に寄与することを目的、会長は田中三郎氏。

### ラジオ農業学校

二十五日、平板測量のしかた。二十五日、寝具について（女子）二十五日、簿記のつけかた

### 年賀はがき発売

お年玉つき年賀はがきが十五日から発売される。益金は不幸な人たちに配分されるわけ。四円と五円の二種がある。お早めにどうぞ

### 所得税は月末までに

一日から、所得税第二期の納税がはじまった。事業税を納入の月でもある。お忘れなく務務者へ。



金山 柏樹選

越ヶ沢 小川 辰治

夕暮の水美しく雁わたる  
脱殻鳴りて戸毎の夜業かな  
小鳥倉 風来坊

朝来や馬曳く綱のながくして  
小白倉 田中 緑風

立てかけし大豆はじける菊日和  
元町 金子 鉄平

秋時雨ままごときよりは納屋の中  
中仙田 小林 遊人

ここよりは刈羽郡や峰紅葉  
△純一無雑の写生句がほしい。わが師、高野素十先生の句を左に。

法師の湯障子の多きこと親し  
神々のみそなわすこの大炬かな  
湯女たちに朝々の炬火清らかに

★

◎前号に、教育委員会や公民館を利用してくださいと書きました。効果テキメン、おかげさまでうれしい悲鳴をあげています。

◎けわしい社会教育のみち、この仕事に増員されるのくることを願っています。ご声援のほどを。

◎泣いても笑っても、あと二十日で国の運命がきめられるのです。ヨメム

コを選びつてもりでよく見

きわめてください。

◎火が恋しい季節になりました。コタツやアンカ

を愛しすぎて、火事を出さないように気をつけましょう。

◎遠山のいただきが白くなっています。しぐれ降る川西はもう冬のしたく、とれ秋のしまつを急いで

ください。では、また次号で。



### 川西一の長い道

仙田へ通する県道のうち、上野・元町間の直線約1キロが、6.5メートルの道中に改修された。川西にはいちばん長い道である。土地買収費や補償金をあわせると工費約9百万円、町で63万円を支出し、あとは国庫の負担でまかなうことになっている。33年の秋にははじめたこの工事は、もうすぐ上野の十字路にとどくという。元町地区内に……押本秀治撮影